

司式 ローレンス・スパーリンク宣教師  
奏楽 五十嵐美代枝姉

## 前奏

開会招詞 歴代誌下7章14-15節

## \* 賛美：「心ひとつに」1節

こころひとつに いのろう こころひとつに うたおう  
たがいのいのち かがやかせ、ともにいきるこのひのために。

## \* 開会祈禱 (主より賜る恵みと平和の挨拶)

## 罪の告白 祈禱書2 (詩編51編)

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

間奏： 賛美歌250番 (つみのちからせまりて) オルガンのみ、会衆は黙禱

つみのちからせまりきて おさえがたくなやまし  
されどわれはなどかなげかん 主ませば。アーメン。

罪の赦しの宣言 (イエス様に依り頼む者の罪が赦されたこと)

## \* 賛美：「心ひとつに」2節

われらのいたみ いのろう ゆるしといやし もとめて  
たがいのいのち いだきあい とともにいきる このひのために。

## 共同の祈禱 祈禱書#38 (賛美礼拝)、牧会祈禱、祈禱書#1 (主の祈り)

聖なる主よ、わたしたちは、心をあなたに向けて賛美します。わたしたちの神をほめ歌うのはいかに喜ばしく、神への賛美はいかに美しく快いことでしょう。

命の主よ、創造主にして救い主であるあなたに、賛美のいけにえをささげることは、まことにあなたにふさわしいことです。あなたの栄光があらわされるところどこにおいても、あなたを礼拝することは、わたしたちの大きな喜びです。(詩編147、ヘブライ13)

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ

ねが み な  
願わくは御名をあがめさせたまえ

みくに き  
御国を来たらせたまえ

みこころ てん ち  
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

われ にちよう かに きよう あた  
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

われ つみ おか もの われ ゆる  
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく

われ つみ ゆる  
我らの罪をも許したまえ

われ <sup>こころ</sup> <sup>あ</sup> <sup>あく</sup> <sup>すく</sup> <sup>だ</sup>  
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ  
<sup>くに</sup> <sup>ちから</sup> <sup>さか</sup> <sup>かぎ</sup> <sup>なんじ</sup>  
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン

献 金： (黒)教会活動 (赤)大会執事活動委員会の働きを覚えて 70  
今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖 書 朗 読： ダニエル書9章1-23 a (新共同訳聖書、旧約p. 1395-1397)  
(朗読後：司会者：主のみ言葉です。会衆全員：アーメン。感謝します。)

説 教： 「悔い改めと執り成しの祈り」 ローレンス・スパーリンク宣教師

祈 禱： (説教者による祈り)

\* 賛 美：「心ひとつに」3節

われらのねがい いのろう、あらゆるために へいわを  
たがいのいのち ささえあい ともにいきる あしたのために。

\* 決 意： 立法の要約の交読：

司式者：

一人の律法学者が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。

「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」

会衆全員：

イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』 この二つにまさる掟はほかにない。」

\* 賛 美：「心ひとつに」4節

こころひとつに 主イエスを こころひとつに しんじて、  
われらにあいを くださった ともにいきる 主イエスのいのち。

\* 祝 禱： (世に送り出される主の民へ神から授かる祝福)

後 奏 (黙禱)

特別企画： 子供祝福式(別紙)

報 告

門脇献一長老

ダレイオスの治世第一年のことである。ダレイオスはメディア出身で、クセルクセスの子であり、カルデア人の国を治めていた。さて、わたしダニエルは文書を読んでいて、エルサレムの荒廃の時が終わるまでには、主が預言者エレミヤに告げられたように七十年という年数のあることを悟った。わたしは主なる神を仰いで断食し、粗布をまとい、灰をかぶって祈りをささげ、嘆願した。わたしは主なる神に祈り、罪を告白してこう言った。「主よ、畏るべき偉大な神よ、主を愛しその戒めに従う者には契約を守って慈しみを施される神よ、わたしたちは罪を犯し悪行を重ね、背き逆らって、あなたの戒めと裁きから離れ去りました。あなたの僕である預言者たちが、御名によってわたしたちの王、指導者、父祖、そして地の民のすべてに語ったのに、それに聞き従いませんでした。主よ、あなたは正しくいます。わたしたちユダの者、エルサレムの住民、すなわち、あなたに背いた罪のために全世界に散らされて、遠くにまた近くに住むイスラエルの民すべてが、今日のように恥を被っているのは当然なのです。主よ、恥を被るのはわたしたちであり、その王、指導者、父祖なのです。あなたに対して罪を犯したのですから。憐れみと赦しは主である神のもの。わたしたちは神に背きました。あなたの僕である預言者たちを通して与えられた、律法に従って歩むようにという主なる神の声に聞き従いませんでした。イスラエルはすべて、あなたの律法を無視し、御声に耳を傾けませんでした。ですから、神の僕モーセの律法に記されている誓いの呪いが、わたしたちの上にふりかかってきたのです。あなたに対して罪を犯したからにはほかなりません。わたしたちにも、わたしたちを治めた指導者にも告げられていた主の御言葉は成就し、恐ろしい災難が襲いました。エルサレムに下されたこの災難ほど恐ろしいものは、いまだ天下に起こったことはありませんでした。モーセの律法に記されているこの恐ろしい災難は、紛れもなくわたしたちを襲いました。それでもなお、わたしたちは罪を離れて主なる神の怒りをなだめることをせず、またあなたのまことに目覚めることもできませんでした。主はその悪を見張っておられ、それをわたしたちの上に下されました。わたしたちの主なる神のなさることはすべて正しく、それに対して、わたしたちは御声に聞き従いませんでした。わたしたちの神である主よ、強い御手をもって民をエジプトから導き出し、今日に至る名声を得られた神よ、わたしたちは罪を犯し、逆らいました。主よ、常に変わらぬ恵みの御業をもってあなたの都、聖なる山エルサレムからあなたの怒りと憤りを翻してください。わたしたちの罪と父祖の悪行のために、エルサレムもあなたの民も、近隣の民すべてから嘲られています。わたしたちの神よ、僕の祈りと嘆願に耳を傾けて、荒廃した聖所に主御自身のために御顔の光を輝かしてください。神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、わたしたちの荒廃と、御名をもって呼ばれる都の荒廃とを御覧ください。わたしたちが正しいからではなく、あなたの深い憐れみのゆえに、伏して嘆願の祈りをささげます。主よ、聞いてください。主よ、お赦してください。主よ、耳を傾けて、お計らいください。わたしの神よ、御自身のために、救いを遅らせないでください。あなたの都、あなたの民は、御名をもって呼ばれているのですから。」

こうしてなお訴え、祈り、わたし自身とわたしの民イスラエルの罪を告白し、わたしの神の聖なる山について、主なるわたしの神に嘆願し続けた。こうして訴え祈っていると、先の幻で見た者、すなわちガブリエルが飛んで来て近づき、わたしに触れた。それは夕べの献げ物のころのことであった。彼は、わたしに理解させようとしてこう言った。「ダニエルよ、お前を目覚めさせるために来た。お前が嘆き祈り始めた時、御言葉が出されたので、それを告げに来た。」

説教題：悔い改めと執り成しの祈り

参照：ハイデルベルク信仰問答問 Q. & A. 116-118

ウェストミンスター小教理問答 98-99

中心的主張点：今こそ私たちに、教会に、日本に 必要なのは執り成しの祈りである。

序説：弟子たちの願い：「主よ、私たちに祈りを教えてください。」

1、祈りについて確認してきたことを思い出そう。

イ、聞いてくださるお方がおられること。

ロ、このお方、生けるまことの神様にしか祈るべきではないこと。

ハ、信仰基準である問答書による祈りのあり方。

2、聖書にある数々の祈りは私たちに祈りを教えてくれる。

イ、詩編は古代から提供される敬虔な主の民の賛美集、祈り集である。

ロ、神様の民の祈りの数々の例もある。

ハ、もう一つの祈り：悔い改めと執り成し。

3、ダニエルの祈りの生活と祈りの中身を確認しよう。

イ、ダニエルという人物：祈りの生活の模範である。

ロ、9章の祈りの内容を確認しよう。（4つの部分あり）

ハ、わざわざ書き残してくださる意義：私たちの祈りを促す。

4、今こそダニエルのような祈りが必要である。

イ、形式と中身、両方が大事である。

ロ、色々なことのために祈る中で、何が最も重要かを考えれば...

ハ、私たちも今日的課題を考えれば、やはり、ダニエルのように祈りたい。

ニ、共同体の一員である意識と意義を受け止めよう。

決論：自分自身のためにも、他者のためにも、また国のためにも、悔い改めと執り成しの祈りに  
励むことは大変重要な営みである。神様はきっと答えてくださる！

=====  
=====  
**序説**：弟子たちの願い：「主よ、私たちに祈りを教えてください。」

私たちも祈りを教えていただきたいと願っています。私たちにもそれが必要なことです。実に、すべての宗教がある類の祈り方を持っています。先日、偉い人の追悼式の中に、故人の写真に向かって祈りがささげられました。原爆の倒爆の記念式辞、あるいは、大震災の記念日の時に、黙禱したり、犠牲者に供養の言葉を捧げたりします。象や祭壇に手を合わせ、頭を下げで拝み、祈りを捧げます。イスラム教徒が祈りの時間になると、一人で、あるいは大群で額を地面につけて祈りません。

## 1、祈りについて確認してきたことを思い出そう。

そこで、私たちは何回かにわたって「聖書的」で聖書の神様の御心にかなう祈りについて学んでいます。今まで2回、お話ししました。

イ、聞いてくださるお方がおられること。

第一回の説教で、奇跡と言ってもいい出来事を証ししながら、私たちの祈りをお聞きになってくださるお方がまことにおられることを確認しました。

ロ、このお方、生けるまことの神様にしか祈るべきではないこと。

第2回の説教で、唯一祈りを聞いてくださるお方以外に祈りを捧げないことを確認しました。他の霊、天使、いわゆる「聖人」、死者、まして、自分の手で作った像などに祈りを捧げません。また、日本では形式を非常に大事にする傾向があるのですが、それよりも、中身の方が大切ですね。

ハ、信仰基準である問答書による祈りのあり方、基本的なことを確認することができます。特に参考になるのは、ウェストミンスター小教理問答の問98-99、そして、ハイデルベルク信仰問答書の問117です。WSCとHCの両方はこれらに続けて「主の祈り」の解説を提供してくれますが、基本的なことを言えば、祈りは感謝と信仰を表現しながら、主なる神様に願いを捧げることであると言っています。WSC99問の答えの前半を注目したいです。「Q：神は、私たちに祈禱を教えるため、どんな基準を授けていてくださいます？ A：神の御言葉全体が、私たちに祈禱を教えるのに役に立ちます。」となっています。

## 2、聖書にある数々の祈りは私たちに祈りを教えてくれる。

確かにその通りです。聖書全体にわたり、主の民の祈り方や祈りの実例がまことに多くあります。聖書は祈禱書でもなく、祈禱の指針でもありませんが、主の御心にかなう多くの記録があります。

イ、詩編は古代から提供される敬虔な主の民の賛美集、祈り集である。

詩編を作成した方々が多くいますし、人生の様々な状況の中から、嘆き、喜び、感謝、懺悔、驚きを表現しています。非常に丁寧に作られた「イロハ歌」もあります。私たちはそのまま、これらを唱えたり、歌ったりします。主イエス様もこれらを多く暗唱してご自分の祈りに用いられたことを福音書からわかります。

ロ、神様の民の祈りの数々の例もある。

検索してみたら、聖書の中に何と、650もの祈りがあることを知りました。それは創世記のアブラハムの祈りから、黙示録の使徒ヨハネの祈りまで、聖書全体にあります。沈黙の祈りもあり、断食が伴う祈りがあり、徹夜の祈り、朝の祈り、教会のための祈り、等々が記されています。

ハ、もう一つの祈り：悔い改めと執り成し。

また、執り成しの祈りがあります。これを今日特に見て学びたいと願っています。例がいくつかあります。例えば、アブラハムがその甥ロットが住んでいたソドムを主が滅ぼさないように祈ります。背くことばかりするイスラエルの民のためにモーセが祈ります。エルサレムで流行っている疫病が終わるように祈るダビデ王もいます。でも今日注目したいのはダニエル書9章にあるダニエルの祈りです。

### 3、ダニエルの祈りの生活と祈りの中身を確認しよう

ダニエルの祈りはどうしても大事にされるのでしょうか。

イ、ダニエルという人物：祈りの生活の模範である。

ダニエル書の一つの特徴は、ことが何年に起こったかをきちんと記録しています。そこで、次のことがわかります。本人はダビデ王と同じユダ部族出身で、王室の近くにエルサレムに住んでいた青年でした。紀元前620年頃生まれました。バビロン帝国の王、ネブカドネツアルが紀元前605年にユダヤを侵略した時に、神殿の宝物を幾分かの戦利品を持って行くと共に、王室関係の優秀な若者を捕虜にして、バビロンに連れて行きます。当時、預言者エレミヤもエゼキエルも活躍しています。大きな試練ではありますが、ダニエルとご一緒に連れて行かれた親友は 裁きを下した神様に対する熱意と敬虔があり、バビロンに連れて行かれても主に仕えること、神様の掟を守る心を持っています。性格といえば、忠実さと誠意に満ちています。深い信仰を持って主なる神様に依頼する人です。また、その祈りの生活が目立ちますので、周りのすべての者に知られるようになります。神様が祈りに答えてくださる方であると信じ、一人で祈り、仲間と一緒に祈り、全き者であるから、信頼に価する者として、王様にも評価されます。6章にある事件が記録されていますが、ダニエルの祈りの生活が描写されています。1日3回、まるで1日3食のような、祈りの間に登り、エルサレムの方に向かう窓の前に跪いて賛美を歌い、祈りを捧げています。その頼っている主に愛されて、祈りがたまたま不思議な仕方で応えられることが書いてあります。エゼキエル書にもダニエルのことが登場します。そこによりますと、ダニエルがノアとヨブに並ぶ義人（無垢で全き者）であることが書いてあります。

ロ、9章の祈りの内容を確認しよう。（4つの部分あります）

では、9章の祈りを見つめましょう。9章1節に何年だったかが書いてあります。これは紀元前538年のことであり、ダニエルの年は75歳前後になっています。預言者エレミヤの書簡がダニエルの手にあり、エレミヤはまだ生きていますが、その文書はすでに主のみ言葉として扱っています。エルサレムが第二回、第三回のネブカドネツアルの侵略によって完全に荒廃になってしまっています。エルサレムを思い、神の都への憧れがあり、何よりもこれの救いと回復を願っています。預言者エレミヤの言葉に促されて、その祈りを捧げます。9章3節にその姿を描いています。

（9章3節：わたしは主なる神を仰いで断食し、粗布をまとい、灰をかぶって祈りをささげ、嘆願した。）一回きりの祈りではありません。わざわざこれを文書に仕上げてください。そしてその中身を言いますと、「わたしは主なる神に祈り、罪を告白してこう言った。」とあります。

先に話しましたが、ダニエルの祈りに4つの部分があります。

- ① 4-6節に罪と背きを告白します。
- ② 7-15節に神様の裁きが当然で、下された罰は正しいものであると認めます。警告が繰り返して伝えられたのに、民はこれを無視してしまい、この悲しい結果を招いたとちゃんと理解しています。
- ③ 16-18a節にダニエルの願いの中心があります。それは神様がその民を裁く手を引いて、回復へと導いてくださるように、とのこと。一つのことには注意しましょう。預言者エレミヤはすでにこれを伝えておきました。けれども、ダニエルはこれを機に祈りにします。つまり、モーセを通して与えられた裁きと罰が実現したように、エレミヤが語ってくれた予言も実現しますようにと願うのです。

④ 18b-19節に、神様がどうしてこんな祈りを叶えてくださるか、祈りの根拠があります。神様は一体なぜこの祈りを聞き入れて下さるか、ということは、神様ご自身の憐れみと名誉にあります。

そしてもう一つの大事なことを確認しましょう。ダニエルは義人であることはエゼキエルも証しています。けれども、そうではないかのように、「私の罪、私たちが犯した背き」と言っています。ここに執り成しの祈りの本質があります。つまり、自分を含めて、その一員である共同体の罪の告白と赦しを懇願するわけです。共同体の一員です。罪の責任を共に担っています。

ハ、わざわざ書き残して下さる意義：私たちの祈りを促す。

ダニエルの祈りはただ当時の事柄の関係があるわけですありません。聖霊の導きを与えられた聖書です。一回きりの祈りではなく、何回も自分から、この文書をもっている仲間から、今日の私たちからも捧げられるものです。私たちも所属している主の民、その共同体の祈りです。こうして、私たちにも祈りを教え、祈りを促す意義があるわけです。

#### 4、今こそダニエルのような祈りが必要である。

これが 今日の説教で私が言いたいところです。このように祈ることは今日の私たちに求められていると固く信じています。

イ、形式と中身、両方が大事である。

私たちもダニエルのような謙り、膝をかがむ姿勢を本当に持っているのでしょうか。形は形のためにあるわけではありません。うわべだけであれば、心をご覧になる神様にとっても嫌われます。なぜなら、偽善にすぎないからです。ですから結局、形よりも心の姿勢がはるかに大切です。謙り、本当に罪のゆえにこれを嘆く砕かれた心。裏表が一致する誠意。

ロ、色々なことのために祈る中で、何が最も重要かを考えれば...

祈りの課題がたくさんあります。650の祈りが聖書の中にあるならば、幅広い内容があるはずです。身近な課題もあり、世界規模の課題もあります。日々の糧をお願いする祈りもあります。主の導きを希う祈りもあります。難病に癒しも必要です。胎児の健康を祈るとともに、世界平和を願う。あなたの課題はどんなのがあるのでしょうか。

ハ、私たちも今日的課題を考えれば、やはり、ダニエルのように祈りたい。

主のみ言葉をダニエルのように調べ、周りの世界の状況を考えれば、ダニエルのように祈りたくならないでしょうか。私たちの国とその歴史、その「国」とは日本であれ、米国であれ、どこの国であっても、神様に厚かましく、生意気に、主に背いていると言えます。先祖の時もそうですし、今日もそうです。生ける神様に対する反逆罪を犯しています。罪に対する神様の怒りがあることを聖書が証してくれまます。私たちは神様が求めておられる有様に近づいている方向性があるのでしょうか。それとも、私たちも神様の厳しい裁きを招いているのでしょうか。私たちが今置かれている状況は神様の祝福によるのでしょうか、それとも、むしろ、呪われているのでしょうか。確かに、ダニエルの時代のエルサレムのような姿ではありません。民が捕囚になって都が廃墟になっていました。けれども、私たちの多くは繁栄して、他の国と比較できないほど裕福です。しかし同時に、主に立ち返る人がこんなに少ないことが一体なぜなのでしょう。どうして罪の赦しと新しい命を提供されてもイエス様の御元に来ようとしないのでしょうか。また、これについて私たちは平気な思いを持っているのでしょうか。こんなに多くの者が滅びに通じる道にあることを何とも思わない

でしょうか。こんなに偶像だらけであることはどうでしょうか。恐ろしい状況であることをちゃんと理解できているでしょうか。

二、共同体の一員である意識と意義を受け止めよう。

私達も神様に背いている共同体の一員である意識があるなら、どうしたらよいでしょうか。ダニエルと一緒に、「私の罪、私たちの罪」を告白して、唯一の癒し主、救い主に 罪の責任を耐えられない私達に負わせないで、その慈しみを表し、聖霊の大いなる注ぎ掛けを与え、私たちの国と世界の諸国を憐れむように願わないでいられるでしょうか。私の先祖の罪も、過ぎた世代の罪も、私の罪も主の怒りに値するのですから、モーセのように、ダニエルのように、ネヘミヤのように、お互いのために執り成しの祈りを捧げることは私たちの最も大きな課題です。

**決論：** 自分自身のためにも、他者のためにも、また国のためにも、悔い改めと執り成しの祈りに励むことは大変重要な営みである。神様はきっと答えてくださる！

主のみことばは 絶え間なく祈り続けなさいと呼びかけています。私たちの体に呼吸が大切であるように 祈りは私たちの魂に不可欠です。大きなリバイバルが日本で起こり、多くの方々がイエス様の御元に立ち返ることが実現するのであれば、このように祈ることが秘訣です。私達も、私を含めて、この共同体のメンバーです。他者の罪ではなく、私たちの罪を懺悔し悔い改めましょう。そうすれば、主がその約束通り大いなる恵みを注がないことがどうしてありえましょう。この国も主の御国とならないでしょうか。主はその民の祈りに 間違いなく 答えてくださるお方です。さあ、祈ろうではありませんか！

## 子供祝福式

前 奏 ーこどもたち前に・前向きー

いのり

十 戒 わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、  
奴隷の家から導き出した者である。

第1戒 あなたはわたしのほかに、なにものをも神かみとしてはならない。

第2戒 あなたは自分のために、きざんだ像ぞうをつくってはならない。

第3戒 あなたは、あなたの神、主の名をみだりにとなえてはならない。

第4戒 安息日あんそくにちをおぼえて、これを聖せいとせよ。

第5戒 あなたの父ちちと母ははをうやまえ。

第6戒 あなたは、殺ころしてはならない。

第7戒 あなたは、姦淫かんいんしてはならない。

第8戒 あなたは、盗ぬすんではならない。

第9戒 あなたは、隣人りんじんについて偽証ぎしょうしてはならない。

第10戒 あなたは、隣人りんじんの家いえをむさぼってはならない。

神様、この十戒を守る心をお与えください。イエスさまによって、アーメン。

あらののマナ マナは、コエンドロの種たねのようで、一見いっけん、琥珀こはくの類たぐいのようであった。民は歩たみ ある



まわ ひろ あつ うす こな はち なべ に かし  
き回って拾い集め、臼で粉にひくか、鉢ですりつぶし、鍋で煮て、菓子にした。それは、こく  
のあるクリームのような味であった。 それはコエンドロの種に似て白く、蜜の入ったウェ  
ファースのような味がした。(民数記11：7.8、出エジプト記16：31)

祝 福 (こどもたち牧師に向かって)

## 子供祝福式の祈りと御言葉

いのり

祝福の源である神よ、今、み前にいます子供たちの上に豊かな祝福を注いでください。  
この子らは、神の宝の民、また、あなたから託された私たちの宝です。この子供たちが、  
身も魂も健やかに成長し、神と人から愛され、神と人を愛する者となりますように。  
主イエスの御名によって、アーメン。

あらのマナ (民数記11：7.8、出エジプト記16：31)

マナは、約束の地に入るまでの食べ物でした。約束の地は、神の国をめざしていまし  
た。人はパンだけで生きるのではなく、神の言葉を食べて生きるのです。荒野のマナは、  
荒野の人生を生きていくのに力を与える食物です。親と教会は、子供たちに心の食べ物を  
与え続けて、約束の地に導きましょう。

いのり

忍耐と励ましの神よ、この子供たちが、これから歩む人生の中で、喜びのときも悲しみ  
のときも、あなたの愛から離れることがありませんように。神の祝福の中で、神の子とし  
て訓練を受け、さまざまな試練や苦しみを乗り越えて、天のみ国に入ることができますよ  
うに。

そのために、親と教会の暖かい愛に包まれ、信仰と希望と愛のうちに育てられ、人生の  
確かな土台を築くことができますように。そして、信仰告白の日には、感謝をもって、共  
に聖餐にあずかり、共にあなたをたたえることができますように。  
主イエスの御名によって、アーメン。

祝 福

「願わくは、主があなたがたの数を増してくださるように。

主が、あなたがたの子らの数を増してくださるように。

願わくは、天地の造り主、主が、御前に立つ子供たちを祝福してくださるように。」

(詩編115：14.15)